

教科名	社会	学年名	第1学年	年間授業時数	105 時間	教科用図書名	日本文教出版
教科の目標	<p>&lt;地理的分野&gt; (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚などを深める。</p> <p>&lt;歴史的分野&gt; (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色など、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。</p>					学習の手引き	<p>○中学生になったら、世の中のできごとにも関心を持つよう、テレビや新聞のニュースを見聞きしましょう。</p> <p>○家族旅行の際にも、地図を確認しながら行き先のことについて調べてみましょう。旅行先の史跡を訪れるよう計画してみてください。</p> <p>○読書タイムや長期休暇の時には、歴史小説や人物伝(伝記)を読んでみましょう。中学生ともなれば、信長・秀吉・家康の戦後時代や坂本竜馬・西郷隆盛の幕末が興味深いことでしょう。女子には、北条政子やお市の方の生き方がおもしろいかもかもしれません。</p> <p>○奈良県は歴史的文化財の宝庫です。その気になれば国宝や世界遺産を間近に見学することができます。法隆寺や東大寺などの寺院、平城宮跡や飛鳥の遺跡群、そして五條歴史文化博物館など、教科書から飛び出して本物を見れば、記憶から消えることはありません。</p>

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
1学期	<p>&lt;地理的分野&gt; 1編 世界と日本の地域構成(10)</p> <p>2編 1章 世界各地の人々の生活と環境</p> <p>2章 世界の諸地域 1 アジア州のようす(5)</p> <p>&lt;歴史的分野&gt; 第1編 私たちと歴史(5) 第2編 古代までの日本と世界 1 人類の始まりと文明(5) 2 日本の原始時代(7) 3 日本の古代国家の形成(4)</p>	<p>&lt;地理的分野&gt; ・主な国の名前と位置を理解する。 ・緯度・経度の概念、地球儀と地図の特徴を理解し、略地図を描くことができる。 ・世界各地の人々の暮らしを、衣食住や宗教との関わりを中心に、自然条件や社会的条件と関連させて考える。 ・アジア州の特色について資料を通して理解する。</p> <p>&lt;歴史的分野&gt; ・小学校で学習した歴史上の人物や出来事・文化遺産について、ふり返ったりまとめたりする活動を通して、時代の区分や移り変わりに気づくことができる。 ・年代の表し方や時代区分について基本的な内容を理解することができる。 ・歴史を学ぶ意欲を高めることができる。 ・世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島での農耕の広まり、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解することができる。 ・大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、天皇や貴族の政治が展開したことを理解することができる。 ・仏教の伝来とその影響など国際的な要素をもった文化が栄え、後に仮名文字など文化の国風化が進んだことを理解することができる。</p>	<p>&lt;地理的分野&gt; ○主な国の名前と位置を理解し、その知識を身につけている。 ○緯線・経線との位置関係に着目して、大陸のおおまかな形状と位置を捉え、略地図を描いている。 ○世界各地の人々の暮らしや環境の多様性を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>&lt;歴史的分野&gt; ○世界の古代文明や宗教のおこり、日本における国会の形成、律令国家の確立と天皇や貴族の政治の展開、国際的な要素をもった文化と文化の国風化など、古代までの日本の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究しようとして古代までの日本の特色をとらえようとするとともに、古代までの日本の文化遺産を尊重しようとしている。 ○世界の古代文明や宗教のおこり、日本における国会の形成、律令国家の確立と天皇や貴族の政治の展開、国際的な要素をもった文化と文化の国風化などについて、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ○世界の古代文明や宗教のおこり、日本における国会の形成、律令国家の確立と天皇や貴族の政治の展開、国際的な要素をもった文化と文化の国風化などに関するさまざまな資料を集め、有用な情報を適切に読み取り、図や表にまとめている。</p>
2学期	<p>第3編 中世の日本と世界 1 鎌倉幕府の成立(3) 2 元の襲来と鎌倉幕府のおとろえ(5) 3 室町幕府と下剋上(5) 4 中世の文化(1)</p> <p>&lt;地理的分野&gt; 2 ヨーロッパ州のようす(6) 3 アフリカ州のようす(3)</p>	<p>・学習したことを活用して、「古代までの日本」を大観し、その特色を表現することができる。 ・武家政治の特色について考え、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が全国に広まったという中世の特色を理解することができる。 ・元寇、日明貿易、琉球の国際的な役割について学習することを通して、日本が東アジア世界と密接なかかわりがあったことを理解することができる。 ・農業などの諸産業が発達したこと、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みが成立したこと、禅宗の文化的な影響などから、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解することができる。 ・学習したことを活用して中世の日本を大観し、その特色を表現することができる。</p>	<p>○世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成され、天皇や貴族の政治が展開したことを理解し、身につけている。 ○天皇や貴族の政治が展開していくなかで、国際的な要素をもった文化から国風文化になっていったことを理解し、身につけている。 ○中世・近世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究して近世の特色をとらえようとするとともに、中世・近世の文化遺産を尊重しようとしている。 ○中世・近世の歴史的事象から課題を見つけ、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ○中世・近世の歴史的事象に関するさまざまな資料を集め、有用な情報を適切に読み取り、図や表にまとめている。</p>
3学期	<p>4 北アメリカ州のようす(6) 5 南アメリカ州のようす(3) 6 オセアニア州のようす(3)</p> <p>第3編 1章 地域調査の手法 2章 日本の地域的特色と地域区分(10)</p>	<p>&lt;地理的分野&gt; ・ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の特色について資料を通して理解する。 ・調べる国の興味・関心ある地理的事象を見つけだし、資料の情報を集め、有効に活用できる。 ○日本の様々な地域区分や県の名前と位置を理解し、略地図を描くことができる。 ○地形図の約束事を理解し、地図を読む力を身につける。</p>	<p>○武家政権が成立してその支配が全国に広まったこと、東アジア世界との密接なかかわりがあったことを理解し、その知識を身につけている。</p> <p>&lt;地理的分野&gt; ○資料から、世界の各州の特色についての情報を読み取り、理解し、各州の主題をもとに多面的・多角的に考えている。 ○地図・景観写真からの地理的事象の読み取り方や雨温図の読み取り方などを習得している。また、地形図の適切な活用方法を身につけている。 ○調べる国の自然環境・産業・文化・歴史的背景などを様々な資料を活用して理解し、基本的な知識を身につけている。 ○日本の国土や領域の特色、領土問題、県名、世界各地との時差を理解し、その知識を身につけている。</p>

教科名	社会	学年名	第2学年	年間授業時数	105 時間	教科用図書名	日本文教出版
教科の目標	<p>&lt;地理的分野&gt; (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域の特徴を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについて自覚などを深める。</p> <p>&lt;歴史的分野&gt; (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色など、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。</p>					学習の手引き	<p>読書タイムや長期休暇の時には、歴史小説や人物伝（伝記）を読んでみましょう。中学生ともなれば、信長・秀吉・家康の戦後時代や坂本竜馬・西郷隆盛の幕末が興味深いことでしょう。女子には、北条政子やお市の方の生き方がおもしろいかもしれません。</p> <p>奈良県は歴史的文化財の宝庫です。その気になれば、国宝や世界遺産を間近に見学することができます。法隆寺や東大寺などの寺院、平城宮跡や飛鳥の遺跡群、そして五條歴史文化博物館など、教科書から飛び出して本物を見れば、記憶から消えることはありません。家族旅行の際にも、旅行先の史跡を訪れるよう計画してみてください。</p>

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
1学期	<p>第3編 日本のさまざまな地域</p> <p>第2章 日本の地域的特色と地域区分 (10)</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>第1節 九州地方－自然環境をテーマに－ (4)</p> <p>第4編 近世の日本と世界</p> <p>第1節 中世から近世へ(6)</p>	<p>&lt;地理的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の各項目による地域区分を、地域の共通点や差異、分布の傾向性などに着目し、比較したり関連付けたりして考察し、その結果を表現する。</li> <li>日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の各項目に関する特色と、各項目による地域区分に関心をもち、日本の地域的特色を意欲的に追求するとともに、各項目に関わる課題を解決しようとする態度を養う。</li> <li>日本の各地方に考察の仕方を設定し、地域の特徴ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ul> <p>&lt;歴史的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、近世社会の基礎がつくられたことを理解する。</li> <li>交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、近世社会の基礎がつくられたことについて多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。</li> </ul>	<p>&lt;地理的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信に関する特色と、それらによる地域区分に関心をもち、日本の地域的特色を意欲的に追求するとともに、それらに関わる課題を解決しようとしている。</li> <li>日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる地域の課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul> <p>&lt;歴史的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。</li> <li>交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、近世社会の基礎がつくられたことについて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して、近世の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。</li> </ul>
2学期	<p>第3章 日本の諸地域</p> <p>第2節 中国・四国地方－人口や都市・村落をテーマに－</p> <p>第3節 近畿地方－歴史的背景をテーマに－</p> <p>第4節 中部地方－産業をテーマに－</p> <p>第5節 関東地方－交通・通信をテーマに－</p> <p>第6節 東北地方－持続可能な社会づくりをテーマに－</p> <p>第7節 北海道地方－自然環境をテーマに－ (各4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方の地域的特色や地域の課題とともに事象間の関係性を理解する。</li> <li>日本の各地方に考察の仕方を設定し、地域の特徴ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる地域の課題を主体的に追究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の各地方の地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>各地方の考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる地域の課題を理解している。</li> <li>日本の諸地域において、各地方の考察の仕方であらう中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる地域の課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
3学期	<p>第4編 近世の日本と世界(10)</p> <p>第5編 近代の日本と世界</p> <p>第1章 日本の近代化(25)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の変動や幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。</li> <li>幕府の財政難の原因や社会の変化、民衆の動きなどに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことについて多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。</li> <li>近代(前半)の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。</li> <li>近代(前半)の日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。</li> <li>近代(前半)の日本に関わる諸事象について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の変動や幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。</li> <li>幕府の財政難の原因や社会の変化、民衆の動きなどに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことについて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>近世の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>近世の日本の学習をふり振り返りながら自身の学びを確認、調整しようとするとともに、近世の時代の特色は何かを主体的に追究しようとしている。</li> <li>資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して、近代(前半)の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。</li> <li>近代(前半)の日本の学習をふり振り返りながら自身の学びを確認、調整しようとするとともに、近代(前半)の時代の特色は何かを主体的に追究しようとしている。</li> </ul>

教科名	社会	学年名	第3学年	年間授業時数	140 時間	教科用図書名	日本文教出版
教科の目標	<p>(1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わりようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>					学習の手引き	<p>○毎日、新聞に目を通す習慣をつけましょう。最初は、TV 番組欄やスポーツ欄でもよろしい。やがて、興味のある記事も目に止まるようになり、新聞を読まないで1日が始まらないと思うようになれば、もはや社会の成績は向上しているはずですよ。もちろん、テレビのニュース番組をそれに置き換えても構いません。</p> <p>○夏休みなどを利用して、問題集などを使い1・2年の学習を復習しましょう。</p>

	学 習 内 容	ね ら い	評 価 の 観 点 ・ 方 法
1 学期	<p>&lt;歴史的分野&gt; 第2章 二度の世界大戦と日本(17 時間) 第6編 現代の日本と世界(14)</p> <p>&lt;公民的分野&gt; 第1編 私たちと現代社会(11)</p>	<p>&lt;歴史的分野&gt; ・第一次世界大戦にかかわる世界の動きと日本の関連や、大戦後の国際平和に向けてどのような努力がなされたのかを考えることができる。 ・軍部の台頭から第二次世界大戦までの経過と、第二次世界大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解することができる。 ・学習したことを活用して、「二度の世界大戦と日本」を大観し、その特色を表現することができる。</p> <p>&lt;公民的分野&gt; ・日本の経済や科学技術が急速に発展して、国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解することができる。 ・学習したことを活用して、「現代の日本」を大観し、その特色を表現することができる。</p>	<p>&lt;歴史的分野&gt; ○第一次世界大戦前後の国際情勢のあらましとこの時期の日本の国民の政治的自覚の高まり、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの日本の歴史のあらましと世界の動きについて、関心を高め、意欲的に追究しようとし、二度の世界大戦期の特色をとらえようとするとともに、国際協調と国際平和の実現の大切さを考えようとしている。 ○多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ○さまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ○理解するとともに、二度の世界大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>&lt;公民的分野&gt; ○戦後の日本の再建と国際社会への復帰、高度経済成長の到来と国民生活の向上などについて、世界の動きと関連させて意欲的に追究し、現代の特色をとらえようとするとともに、国際社会における日本の役割を積極的に考えようとしている。 ○課題を見いだし、現代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ○さまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ○世界の動きと関連して理解し、その知識を身に付けている。</p>
2 学期	<p>第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法(17) 第2章 国民主権と日本の政治(17)</p> <p>第3編 私たちの生活と経済(23)</p>	<p>・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解することができる。 ・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考察することができる。 ・日本国憲法の基本原則を具体的な生活との関わりから理解することができる。 ・議会制民主主義や地方自治の意義や仕組みについて理解することができる。 ・法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解することができる。 ・市場経済において個人や企業は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するか選択すること、また、価格には、何をどれだけ生産・消費するかに関わって、人的・物質的資源を効率よく配分する働きがあることを理解することができる。</p>	<p>○基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を、法や法に基づく政治に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。 ○日本国憲法の基本原則を理解し、その知識を身に付けている。 ○議会制民主主義が我が国の政治の原則になっていること、主権者として主体的に政治に参加することの意義について多面的・多角的に追究している。 ○なぜ市場経済という仕組みがあるのか、どのような機能があるのかについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○身近で具体的な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働きについて関心を高め、それを意欲的に追究し、個人や企業の経済活動について考えようとしている。 ○企業の社会的責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、経済活動に関わる様々な立場から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○生産のしくみや金融について対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○金融には直接金融と間接金融があること、家計の貯蓄などを企業の生産活動や人々の生活の資金などとして円滑に循環させる働きがあることを理解し、その知識を身に付けている。</p>
3 学期	<p>第4編 私たちと国際社会(14)</p> <p>第5編 私たちの課題(7)</p>	<p>・租税の意義と役割について考えるとともに、国民の納税の義務について理解することができる。 ・国家間相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力、国連をはじめとする国際機構の役割が大切であることを理解することができる。 ・国際社会における我が国の役割について考察することができる。 ・日本国憲法の平和主義と我が国の安全と防衛、核兵器などの脅威など世界平和に関わる問題について考察するとともに、世界平和を確立するための熱意と協力の態度をもつことができる。 ・持続可能な社会を形成するためにこれから社会参画をしていくための手掛かりを得ることができる。</p>	<p>○税の負担者として租税の使い道などについて理解と関心を深めるなど納税者としての自覚をもっている。 ○財政の役割について、少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○少子高齢社会における社会保障とその財源の確保の問題について、自分の将来と関わらせて考え、まとめ、説明している。 ○戦争や地域紛争を防止し世界平和を確立するための熱意と協力の態度が育ち、人間の生命の尊さ、平和の尊さを考えようとしている。 ○グローバル化してきた国際社会における我が国の役割、日本の国際貢献、世界平和や地球環境、資源・エネルギー、貧困などに関わる課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○国際政治は国家間の対立の克服を試みるものであること、全ての国家の主権が相互に尊重されなければならないこと、地球環境、資源・エネルギー、貧困な課題に対しては、経済的、技術的な協力が必要であることを理解し、その知識を身に付けている。</p>